

ブレイズ ダイヤ
BRAZE
DIAMOND

取扱説明書

このたびは、弊社製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。

製品を「より安全に」「より効果的に」ご使用頂くために、必ずこの取扱説明書をお読みください。また、この取扱説明書は、製品を廃棄されるまで大切に保管してください。

ご使用の前に

7. 全般共通

- ①ご使用になる前に今一度「製品に異常はないか」「対象穿孔材とコアの刃先」「電動ドリルの選定、使用モード(回転・振動など)は間違っていないか」を確認してください。
「異常」「間違い」が発見されたら、そのままでは使用しないでください。
- ②電動ドリルにコアの取付けをされる場合、「電動ドリルの始動スイッチが切れていること」「電源用コンセントが抜いてあること」を確認してください。

●ストレートシャンクの場合

コアのシャンク部を電動ドリルの「チャッキングの三爪」と「シャンクの三面取り部」を合わせ、しっかりとチャッキングしてください。電動ドリルでチャッキングする三面取り部が10mmチャック用・13mmチャック用の二段になっております。10mmチャックの場合は細い部分を13mmチャック以上の場合には太い部分(シャンクの根元に近い部分)を確実にチャッキングしてください。

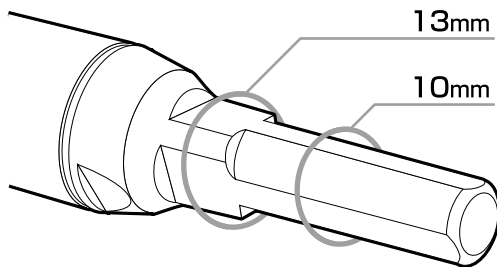
●SDSシャンクの場合

軽量ハンマードリルを使用の場合は、軽量ハンマードリルのチャッキング部にしっかりと挿入してください。

- ③電源を入れ、電動ドリルをテスト回転してみてください。
センタードリルが「著しく」振れる、シャンク部が振れる、ボディが振れるなど異常現象がある場合は、各部品の設定の仕方など再チェックしてください。
- ④穿孔すべき位置の中心にセンタードリルの先端を合わせ、電動ドリルのスイッチを入れてください。
- ⑤穿孔が完了するまで、できるだけ電動ドリルの回転数を落とさないように作業してください。

※強く押付けるより、電動ドリルの回転数が余り落ちない、適当な押付けで穿孔作業をしたほうが、穿孔時間は短縮されます。

10mm/13mmチャック兼用シャンク
(口径:65~220mm)



2. センタードリル交換の仕方

穴あけ作業中、センタードリルが被削材に喰い込んでいる状態で、コアドリルを反時計回りに回転させてもセンタードリルが外れ難い構造です。

●センタードリルの取外し

①センタードリルを軽く引張り反時計回りに60°回転させますと、シャンク内部でセンタードリルが外れた状態になります。

②そのまま引き抜いてください。センタードリルは簡単に外れます。

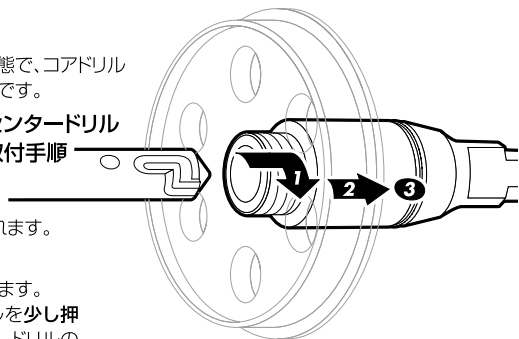
●センタードリルの取付け

①センタードリルをシャンクのセンタードリル穴に深く挿入します。

②シャンク内にある突起に突き当たったら、センタードリルを少し押し込みながら時計回り方向に回しますと、突起とセンタードリルの凹凸溝が合い、センタードリルは更にシャンクの奥まで入ります。

③センタードリルが奥まで入った所で、更に時計回りに60°回しながら押し込むとセット完了です。

センタードリル
取付手順



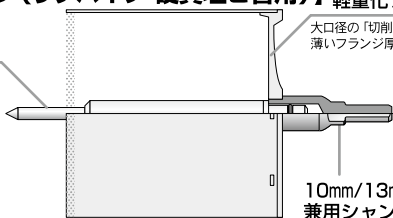
素手でセンタードリル、センターピンを引き抜くと、指や手を怪我する場合がありますので必ず手袋を着用してください。

3. 切りカスの除去

フランジ部に「切削屑排出孔」が設けてありますので、ドライバーなどを用いて相向いの穴から交互に切りカスをつついて除去してください。

【VPCタイプ(リブパイプ・硬質塩ビ管用)】 軽量化フランジ

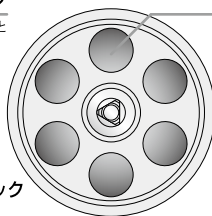
センターピン



大口径の「切削屑排出孔」と薄いフランジ厚で軽量化。

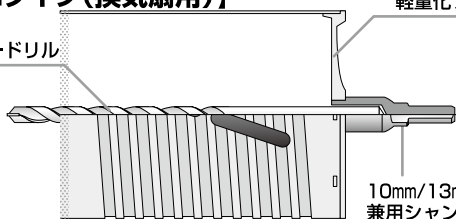
10mm/13mmチャック兼用シャンク

切削屑排出孔



【FANタイプ(換気扇用)】

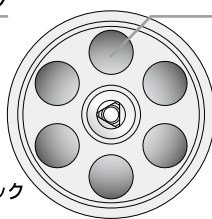
センタードリル



軽量化フランジ

10mm/13mmチャック兼用シャンク

切削屑排出孔



4. ブレイズダイヤコアについて

●ブレイズダイヤコアは他のコアと違い「研削」で穿孔しますので「回転数が高く、力の強い電動ドリル」を使用し「電動ドリルの回転数が多少落ちる程度に押し付ける(10kgf位)」よう穿孔するのが早い穴あけのコツです。

●切粉の排出が悪い時など、時々コアを回転させながら穿孔穴から抜け出さない程度に穿孔方向に「引いたり」「押したり」すると切粉がより排出され早く穴あけできます。

●ブレイズダイヤは目立て(ドレッシング)は不要です。

※ブレイズダイヤは乾式専用です。水は使用しないでください。

※電動機は750W、8A、800rpm程度(回転モード)をご使用ください。

5. ブレイズダイヤコアでの穿孔 [回転専用]

①センタードリル又はセンターピンでしっかりと位置決めしてから電動機を回転させ、穴あけを開始してください。

※センターピンの場合は、3~5mmの溝が掘れた時点で穿孔を中断し、センターピンを取り外して下さい。

刃先を円形溝に合わせ、穿孔を再開して下さい。

②穴あけ中は電動ドリルの回転数が多少(2割位)落ちる程度に押し付けて穿孔してください。

保 守 ・ 管 理

- ①ご使用後は、付着している切りカス、水分等を綺麗に拭き取ってください。
 ②長時間で使用にならない場合はゴミなどを綺麗に拭き取った後、油など防錆効果のあるものを塗布しておいてください。
 ③可動部分には、ときどき注油してください。
 ④その他ご不明の事がございましたら、最寄りの弊社営業所へお問い合わせください。

対象物・電動ドリル別適合表

対象物		ブレイスダイヤモンド シリーズ	硬質 塩ビ管用 VPC	換気扇用 FAN	備 考
					◎……最適 ○……適
リブパイプ			◎		
硬質塩ビ管			◎		
FRPM管			◎		
スパイラル管（鉄管）			×	×	使用不可
ダクト管（鉄管）			×	×	使用不可
ヒューム管			×	×	使用不可
金属管			×	×	使用不可
A L C				◎	（3分筋切断）
硬質サイディングボード			○	◎	
石膏ボード			○	◎	
軟質サイディングボード			○	◎	
F R P			○	○	
樹脂系人造大理石			○	○	
金属板			×	×	使用不可
電 動 機	回転モード		●	●	
	振動モード				
	SDS打撃モード				
部 品	ストレートシャンク		●	●	
	SDSシャンク			●	
	センタードリル		●	●	BZCD-No.1(VPC用)/BZCD-No.2(FAN用)
	センターピン			●	BZCP-No.2(FAN用)

安全上の注意

- 作業に適した服装で作業を行ってください。特に切り屑等が目に入らないように、保護メガネを着用してください。
- 作業環境を整えてから作業を行ってください。高所、可燃性物質のある所、暗所、雨中、湿地にての作業は足場確保、落下防止、引火防止、感電防止などの安全を確保してから行ってください。
- 使用前、製品に損傷がないかを点検し、損傷があるときは絶対に使用しないでください。
- 電動機に着脱する際は、始動スイッチが切れていることを確認し、必ず電源プラグをコンセントから抜いた後、行ってください。
- 穿孔時の摩擦により製品本体、切り屑、穿孔面は高温になっております。絶対に素手では触れないでください。
- 改造は絶対にしないでください。
- 回転中の回転部分、特に刃先には絶対に手を触れないでください。
- 回転中に異常を感じたときは、作業を中止し、製品・電動機を点検してください。
- 記載用途以外の使用は、メーカーに必ずお問い合わせください。
- 使用する電動機の取扱説明書をよくお読みになった上でご使用ください。

- 作業員以外は作業場の周囲に近づけないでください。
- 刃先は鋭利ですので、素手では触れないでください。
- 部品交換、組立時は取扱説明書をよくお読みください。
- 交換部品は製品の仕様に適合するものをご使用ください。
- 使用する電動機の仕様にあった製品・サイズをご使用ください。

製品の品質に関しましては万全の体制で取り組んでおります。万一、欠陥・不良等の場合には、お手数ですが、製品と当取扱説明書を添えてご購入店にお持ち下さるか、弊社本社宛に発送してください。また、本製品は改良のため、仕様および形状を予告なく変更することがあります。ご了承ください。